



ケン月影

淫肉喰い!
絶倫坊主の
色修行



この上は
拙僧が生臭
法力をもつて
救いの手を差し
のべてやらねば
.....

あの娘は
遠からず
身を持ち
崩すは
明白じゃ



!?

やめてッ
やめて下さいッ
どんな事情か
知らないけど

「死んで
花実が
咲くものか」
というで
しょう

死んだら
お終わりよ



花も実もというがよ
男根が不能ずじや
実を結ぶどころか
蕾もつかねえのさ

あげくが
そこいらの
娼婦にまで
バカにされて
みる



お願い
思いとどまっ
て……



!?……
ちよ……ちよっと
待って下さい
……
それは……



それとも
あんた
俺の不能
直してくれる
とでもいうの
かい



そうして
くれるんだな
……



イヤッ
 そんなッ
 だめッ
 やめて下さい
 あう……



えっ 嫌だつてえ
 のかいッ
 それじゃアかえつて
 首つり人の足を
 引っぱるような
 もんじゃねえかッ

あんただつたら
 俺の悩みも
 解消できる
 かもしれねえ

ちよつ：
 ちよつとでいい
 あんたの
 女陰を見せ
 てくれよ



あう



うぐうゝ
 あの男
 調子に乗り
 おつて！

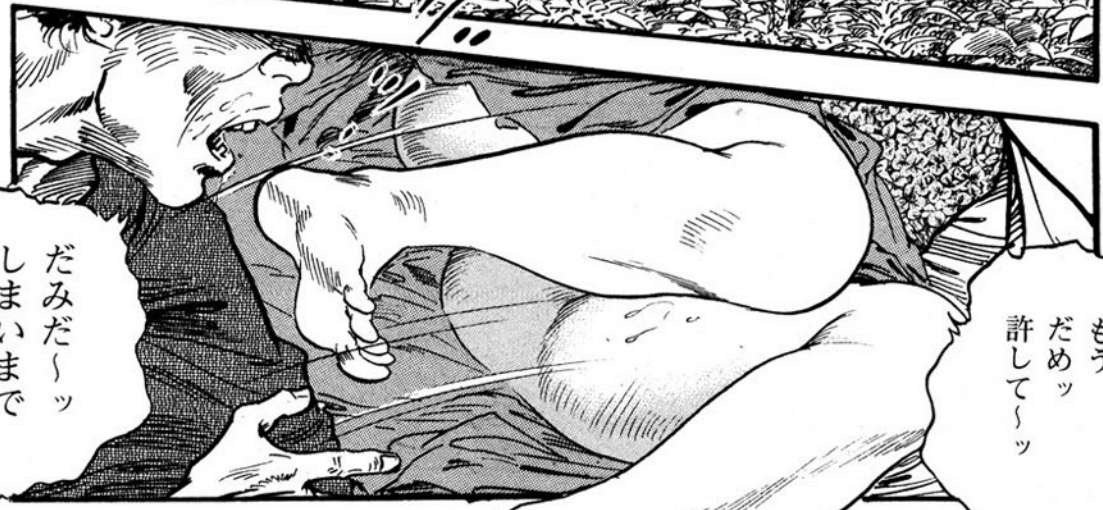


ああう
イヤッ

ももうカン
ニンして

あう
だめえ

はめ



もう
だめッ
許してッ

だみだッ
しまいまで
責任とれやッ





オヨッ
こりやア
たまらんわ



あうう
……
あん





娘ご
いかなされた
.....
気分でも悪う
なられたかな？



ああ



あー
案ぜずとも
よい
見への通り
.....

拙僧は
通りすがりの
坊主じゃ
.....
ウム：

そなたには
物の怪がとり
憑いておる
ようじや

しかも
たちの悪い
魔性のな
……

魔性の
……?
……?
……?
……?

すぐに
とり払わねば
そなた
素裸で
町中を駆け
廻るような
ことに
なるやもしれんぞ

今そうして
おっても下の方が
ほてり体中が
熱うなつて
疼いておろうが

男の男根が
欲しゅうて
気が狂いそうで
あろう……
下の方はもう
グッシヨリと
液を含んでのう

うう
……

ああッ
恥ずかしい
あう…

大丈夫じゃ
まかせなさい

これも人助け
この拙僧が
法力をもって
打ち払うて
進ぜる

うむ
この肉仏の
奥底に巣食うて
おるな
物の怪め

うむ



ウム
五欲煩惱
とくに
淫欲煩惱の
なせる災いじゃ

魔性の怪は
白蛇じゃな

おのれ、
肉奥にとぐろを
巻きおろすッ

あゝあゝ

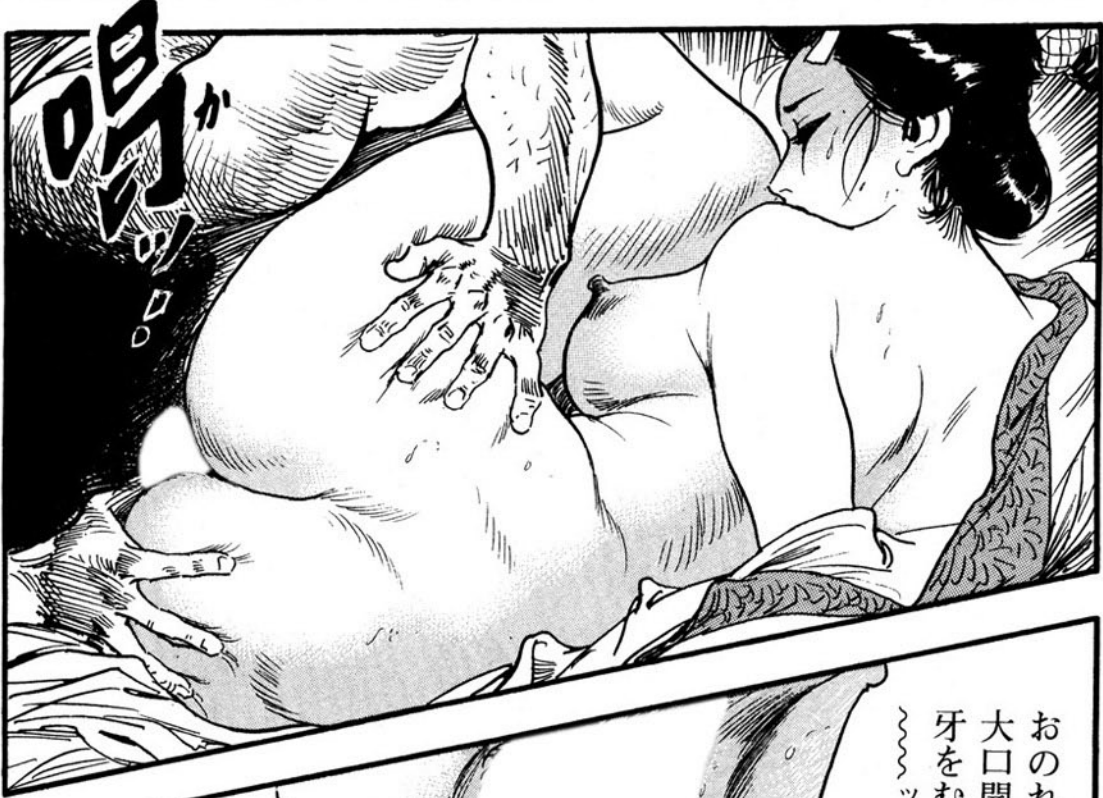
あゝ





あまあま
はあッ
元んなッ
イヤイヤ

この性悪な
白蛇め
今 白日のもとに
さらしてくれんッ



喝



おのれッ
大口開けて
牙をむくか
ッ

ならば
こっちも
目には目を
歯には歯を
じゃッ



この拙僧が
肉剣をもつて
刺し貫いて
くれよう
ぞ~~~~ッ

喘げ
のたうてッ
今うぬが
大口押し開き



あ
あ
あ

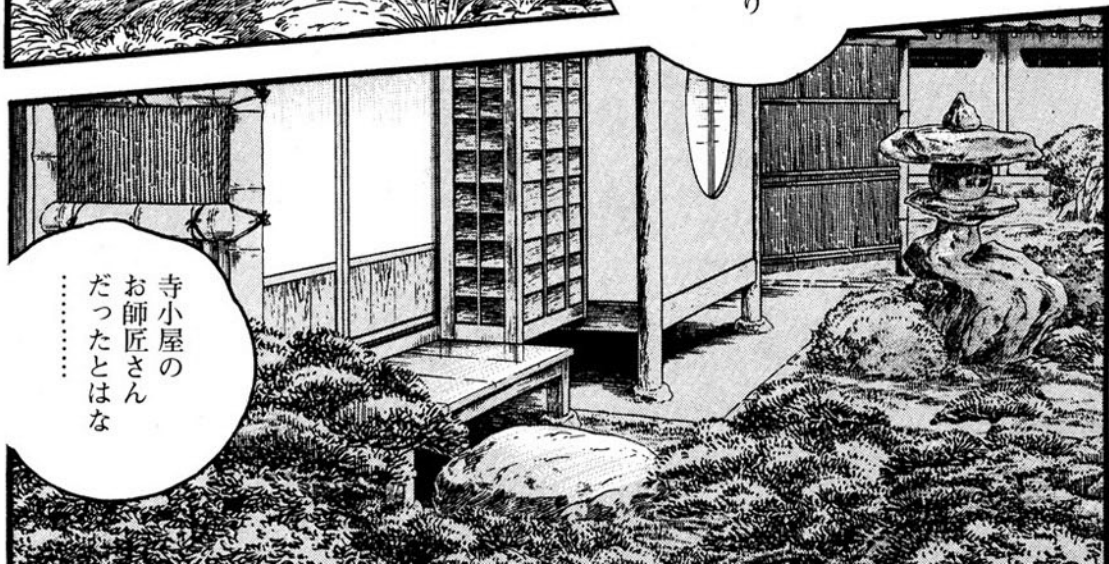
あ
あ
あ





いや驚いたな
こんな寺へ
案内されたんで
ドキンとしたが
……

この寺の
離れに間借り
してた娘
いやァ……



寺小屋の
お師匠さん
だったとはな
……



もう夜廻りの人は来ませんから… 昼間の続きをお願いします

イッ



昼間以上に体中がほてり出して…

あ女陰がふいてもふいても濡れてしまうんです



ああ

は、ほやうらららだめく…



かたがた

はっはっはっ

あっあっ
もっもっ
突いて~~~~

もっも
もっよ
もっ強く
もっ

あゝあゝ